

天気マークの見方の説明

天気マーク▶					
DI水準▶	特に好転 25以上	好転 10~24	まあまあ 9~▲9	悪化 ▲10~▲24	特に悪化 ▲25以下

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合) ※( )は前期(2015年1~3月)の調査結果

鹿児島商工会議所

# 景況調査

[2015年4月~6月]

## 景況感は持ち直しの動き 〜来期の業況回復への期待感高まる〜

当商工会議所が実施した今期(平成27年4月~6月)の中小企業175社の景況調査結果によると、全産業の業況DIは1・7となり、前期(平成27年1月~3月)の業況DI▲20・9と比べて22・6ポイント「P」改善し、景況の持ち直しがうかがえる結果となった。

また、業況以外の項目においても、資金繰りはマイナス幅が縮小、売上額・採算も大きく改善傾向がみられた。

	全産業		製造業	
	今期	来期見込	今期	来期見込
① 業況	まあまあ 1.7 (▲20.9)	好転 5.7 (▲5.6)	まあまあ ▲6.7 (▲21.4)	好転 10.0 (18.5)
② 売上額	まあまあ 6.7 (▲25.7)	好転 11.8 (▲2.7)	好転 10.0 (▲35.7)	まあまあ 0.0 (7.1)
③ 資金繰り	まあまあ ▲5.1 (▲13.1)	まあまあ ▲0.6 (▲8.2)	まあまあ ▲3.3 (▲7.1)	悪化 ▲13.3 (0.0)
④ 採算	まあまあ 1.1 (▲12.2)	まあまあ 8.0 (▲5.6)	まあまあ 3.3 (▲11.1)	まあまあ ▲6.7 (11.1)

業種別に見ると、卸売業はほぼ横ばいに推移したものの、その他の業種については、消費税増税前のかげ込み需要の反動減が一段落したことに起因し、製造業のマイナス幅が縮小、小売・サービス・建設業では大きく改善した。

来期(平成27年7~9月)の全産業の業況DI見通しは5・7(前期比+11・3P)となり、回復基調が続いていることから、引き続き回復に向かうことへの

	建設業		卸売業	
	今期	来期見込	今期	来期見込
① 業況	まあまあ 2.9 (▲10.7)	まあまあ ▲2.9 (▲25.9)	悪化 ▲17.9 (▲19.0)	悪化 ▲19.2 (0.0)
② 売上額	まあまあ ▲5.7 (▲3.6)	まあまあ ▲5.9 (▲18.5)	まあまあ ▲6.9 (▲42.9)	好転 10.3 (0.0)
③ 資金繰り	まあまあ ▲8.6 (▲14.8)	悪化 ▲17.6 (▲14.8)	まあまあ 3.4 (▲4.8)	まあまあ ▲3.4 (▲14.3)
④ 採算	まあまあ 0.0 (0.0)	まあまあ 8.8 (▲10.7)	悪化 ▲10.7 (▲9.5)	まあまあ ▲7.1 (0.0)

期待感が高まってきたことがわかる。回答先からは、「新市場獲得の為にIT活用を検討している」(サービス業)、「仕入商品を見直し、売上拡大を図りたい」(小売業)といった前向きなコメントがみられた。一方で、「公共工事受注減により売上確保が困難」(建設業)、「円安の影響による原材料価格高騰から資金繰りが厳しい」(卸売業)との声もあつた。

	小売業		サービス業	
	今期	来期見込	今期	来期見込
① 業況	まあまあ 8.1 (▲40.0)	好転 20.5 (▲16.7)	好転 13.3 (▲14.6)	好転 10.9 (▲2.6)
② 売上額	好転 15.8 (▲26.7)	特に好転 30.8 (▲10.3)	好転 14.9 (▲24.4)	好転 17.4 (4.9)
③ 資金繰り	悪化 ▲10.8 (▲30.0)	好転 13.2 (▲23.3)	まあまあ ▲4.3 (▲7.7)	好転 10.9 (5.0)
④ 採算	まあまあ ▲2.7 (▲23.3)	好転 17.9 (▲20.7)	好転 11.4 (▲14.6)	好転 17.8 (▲5.1)